よい品をどんどん安く、より豊かな社会を

daiei

ダイエー 公式 SNS

発行／株式会社ダイエー
〒135-0016
東京都江東区東陽2丁目2番20号
TEL.03-6388-7100（代表）
https://www.daiei.co.jp

ISO 14001 JACO EC09J0051 / UKAS MANAGEMENT SYSTEMS 0051

FSC www.fsc.org ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C022784

VEGETABLE OIL INK

本会社案内は、FSC® 認証紙を使用しております。また、植物油インキを使って印刷しております。誌面構成においては、年齢や個人差に拘らず多くの方に見やすいデザインを心掛け、ユニバーサルデザインフォントを使用しました。

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

daiei

COMPANY PROFILE
会社案内

2023-2024

Top message

現在、当社は食品を中心としたスーパーマーケットチェーンとして、首都圏1都3県および近畿圏2府4県において計206店舗（2023年6月末現在）を展開しております。

1957年の創業以来「よい品をどんどん安く、より豊かな社会を」を基本理念に、流通革命の実現を目指して多くの挑戦を行ってまいりました。昨今の不安定な世界情勢や地球環境問題などによる原材料やエネルギーコストの高騰、加えて人口減少に伴う労働力不足や法令改正による物流問題など、私たちを取りまく環境は厳しさを増しています。この大きな変化の中にあるときこそ、地域の暮らしを支えるスーパーマーケットとして、より豊かな社会の実現に向け、社員一同挑戦を続けてまいります。

具体的には、自社農場やプロセスセンターを活用した独自商品の開発、「トップバリュ」など、品質・価格にこだわった価値ある商品の拡大、ならびに既存店の活性化による環境整備や最新フォーマットを備えた出店を加速することで、日々のお買い物がより充実し、楽しくなる店づくりを行ってまいります。また、ＡＩによる需要予測型発注システムの活用、価格やセール情報等を一括反映できる電子棚札の採用、お得なクーポン配信や支払い機能等を備えたアプリ「iAEON」の推進、スムーズに精算できるセルフレジの拡大など、DXの推進によりお客さまに便利で新しいお買い物体験をご提供するとともに、店舗運営の生産性改善につとめてまいります。

また、サステナブルな社会を実現する「SDGs」の達成に向けた取り組みも積極的に実施しております。例えば、消費期限を延長できる包装技術の積極的な採用や、冷凍食品・冷凍食材を強化するほか、「フードドライブ」や「移動販売」の実施など、「食」を起点とした取り組みを中心に、社会的責任を果たしてまいります。

当社は、「地域にとって、生活に欠かせない存在となり、地域とダイエー相互で持続的成長を果たす」ことを目指す姿として、今後も皆さまからのお声を真摯に事業へ反映させるとともに、地域の皆さまのより豊かな暮らしに貢献してまいります。

2023年6月
代表取締役社長
西峠泰男

ミッション

ダイエーの第1号店は、1957年、大阪の千林に誕生しました。以来、変わらない企業理念があります。

基本理念

よい品をどんどん安く、より豊かな社会を

目指す姿

地域にとって、生活に欠かせない存在となり、
地域とダイエー相互で持続的成長を果たす

2023年度 政策方針

4つの戦略

1. 商品価値・競争力の最大化
2. 新店・活性化・新業態による成長
3. 新たな体験の提供、プロセス改善に向けたDX推進
4. ストアロイヤリティの向上

おいしく食べて“ココロとカラダ”健康に

「おいしく食べて“ココロとカラダ”健康に」をコンセプトに、健康志向にお応えする「ヘルス＆ウエルネス」や手軽においしく食べられる「ミールソリューション」をテーマとした売場やサービスを提供しています。

「ヘルス＆ウエルネス」では、野菜や肉、ワインなど各種「オーガニック」商品や、プラントベース、グルテンフリー、アレルゲンフリー、ヴィーガンなどさまざまな志向に配慮した商品を豊富に展開。「ミールソリューション」として、素材や味にこだわった弁当・惣菜のほか、簡便ミールキットや冷凍食材等を展開しています。また、献立のヒントとして、買い物内容から栄養バランスをお知らせする栄養管理アプリ「SIRU+」や、食の情報を発信する「dai-docoro」、公式SNS「きちんとキッチン」にてメニューを紹介しています。

シルタス
「SIRU+」

買い物内容から栄養についてアドバイス

店頭の情報発信基地「dai-docoro」

旬の食材を使った料理や、おすすめワインとのマリアージュのご紹介、季節のイベントに合わせたメニュー提案など、毎日の食卓にヒントや楽しさをお届けする情報を発信しています。

食の情報誌「dai-docoro」

旬の野菜や魚に関する豆知識、健康情報やおすすめワインなどを豊富なレシピとともに掲載。毎月発行し店頭にて無料配布しています。

Webはコチラ

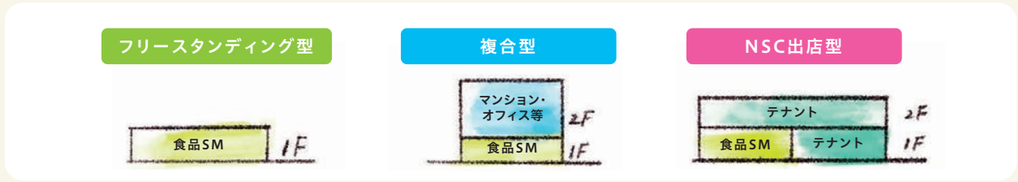
「きちんとキッチン」

1分見るだけレシピ動画配信
「きちんとキッチン」公式SNS

1分見るだけ きちんとキッチン by daiei

おもな出店形式

地域に応じて、近隣にお住まいの方のご利用を中心とする都市型の300坪タイプ、広域よりお越しいただく郊外型の600坪タイプの２つのフォーマットにて出店を進めています。



※SM:スーパーマーケットの略称　※NSC:近隣住宅街などの小商圏をターゲットとしているショッピングセンター

都市型の300坪タイプ（フリースタンディング型）

都市部にお住まいの方の日々の暮らしを支えるべく、鮮度や品質にこだわった生鮮・デリカや、ヘルス＆ウエルネス関連商品などの品揃えを充実させるとともに、デジタルを使った便利で楽しい買い物体験を提供します。

ダイエー豊洲店（東京都江東区：2022年4月オープン）

都市型の300坪タイプ（複合型）

NEW OPEN 新店紹介

イオンフードスタイル西新宿店（東京都新宿区：2023年4月オープン）

郊外型の600坪タイプ（NSC出店型）

300坪タイプの商品・サービスに加え、市場直送の魚や種類豊富なワイン、当社のこだわり素材を調理したカフェの展開など、品揃えの幅を広げることで、広域のお客さまに発見と驚きに溢れた買い物環境を提供します。

イオンフードスタイル茨木太田店（大阪府茨木市：2021年3月オープン）

NEW OPEN 新店紹介

イオンフードスタイル豊中庄内店（大阪府豊中市：2022年12月オープン）

価値ある商品を提供するために

生産から販売までのサプライチェーンを支えるグループ会社とともに、鮮度がよく付加価値の高い商品づくりに取り組んでいます。

マーケティング → 企画開発 → 生産 → 調達 → 製造・加工 → 物流 → 店舗加工 → 販売・サービス

生産

（株）鹿児島サンライズファーム

1970年に設立された、日本で初めてのチェーンストア直営の農場です。店舗の消費者ニーズを生産現場に速やかに反映できる強みを活かしながら、低価格でおいしい雌牛限定の黒毛和牛「さつま姫牛」と銘柄豚「さつま王豚」を肥育しています。食品の安全と品質を確保するための国際的なマネジメントシステムであるSQFの認証を取得し、世界基準に基づく安全・安心な商品をお客さまへ提供しています。

企画開発

製造・加工

（株）ボンテ

おいしい焼きたてパンを食卓にお届けすることをモットーに、ダイエー店舗内を中心に11店舗（2023年6月末時点）でベーカリー専門店を展開しています。
また、ベーカリー工場ではお客さまに安全・安心かつお求めやすい価格で焼きたてパンを提供できるよう「5S活動」「生産性・効率改善の推進」に日々取り組み、焼成パンや冷凍生地をダイエー各店舗に供給するとともに、原料や製法にこだわった食パンなど価値ある商品の開発を行っています。

企画開発

製造・加工

（株）アルティフーズ

肉、魚介などの素材の加工や、おにぎり、寿司、弁当、惣菜などの製造をしています。
また、国際認証のISO14001認証およびSQF認証取得の工場として、生産計画の精度向上、品質不良品発生の撲滅、消費期限の長い商品の開発など、お客さまへの安全・安心な商品の提供と環境問題への取り組みを行っています。

トップシールによって密封したMAP包装商品は、製品の特性により酸素、窒素、二酸化炭素の比率を調整することで、品質保持期間（消費期限）を延ばすことが可能になりました。

ダイエーの商品開発ストーリーはこちら（web）

オンリーワン商品の開発

自社プロセスセンターを活用した弁当・惣菜、市場駐在バイヤーが厳選した季節のお魚の提供、国産黒毛和牛「さつま姫牛」、素材にこだわったパンなどを開発しています。

環境にやさしい商品の提供

真空スキンパック包装・MAP包装・冷凍技術を活用し、より長く品質を保つことができる「ロングライフ商品」を開発。生鮮素材や、簡便素材を提供しています。

価格競争力の強化

「トップバリュ」「安い値！」を中心に、サプライチェーンの工夫やグループシナジーの活用により、よい品をより安くお求めいただける価格の実現に力を入れています。

ヘルス＆ウエルネス商品の展開

ニーズが高まっている「オーガニック」「低糖質」「植物由来」など、あらゆる商品において健康に配慮した商品を積極的に採用しています。

価値ある品をどんどん安く　ダイエーオリジナル商品の紹介

国産黒毛和牛「さつま姫牛」

鹿児島県に19ある直営・預託農家にて肥育を統一管理している「さつま姫牛」は、肉質がきめ細かく食感がしっとりしたとろける口当たりの雌牛限定。未経産の雌牛・3～5等級にこだわっています。

おいしさの理由はコチラ（web）

生本まぐろにこだわった「魚屋の寿司」

プロの目線で選び抜かれた鮮魚でつくる「魚屋の寿司」。最良の鮮度で提供するため、仕入れから店内加工の工程までこだわっています。特別な日にも普段の食事にもお気軽にご利用いただける価格で、価値ある逸品を目指しています。

焼きたてパン「D’s ベーカリー」

添加物を極力省いた素材を使用し、本来のパンづくりの製法にこだわり店内またはセントラルキッチンで焼き上げる「D’s ベーカリー」。毎日でもご利用いただけるお手頃な価格設定で、価格以上のバリューを提供することを目指しています。

おいしさのヒミツはコチラ（web）

TOPICS

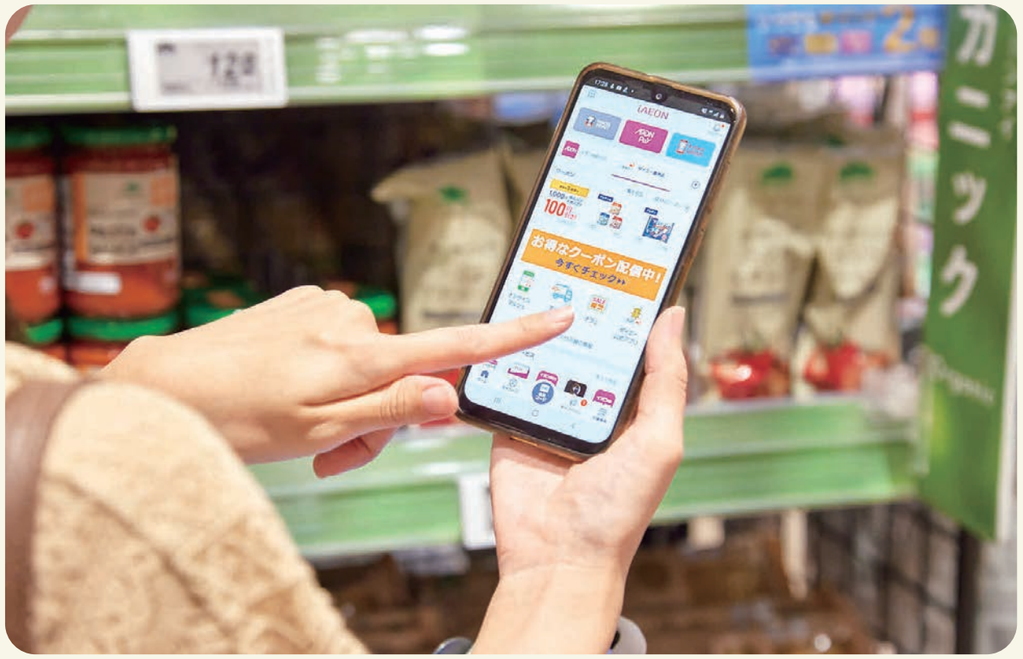
Dipper Dan CREPE SINCE 1972

グループ会社の（株）オレンジフードコートでは、クレープ専門店「Dipper Dan」を運営。
10代～20代を中心におとな世代まで幅広く人気の商品を開発しています。

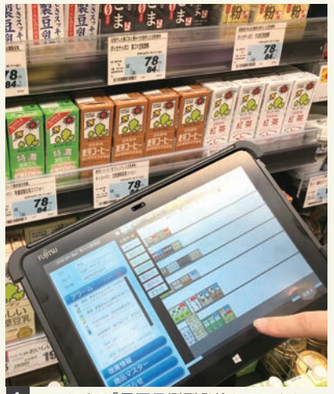
ブランドサイトはコチラ

DXの推進

アプリを中心とした新たなお買い物体験の提供のほか、ＡＩ（人工知能）を使った発注システムやESL（電子棚札）の活用などにより生産性を向上することで、リアル・デジタル双方におけるお客さまとのコミュニケーション機会を増やし、よりご満足いただけるサービスを実現してまいります。

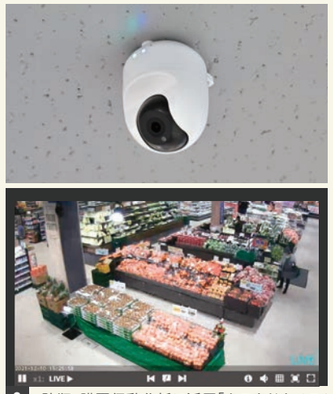


イオンのトータルアプリ「ｉＡＥＯＮ」のプラットフォーム上に、当社が企画運営するＥＣサイト「ダイエーオンラインマルシェ」や「ダイエーネットスーパー」「ダイエー公式アプリ」を搭載。イオングループの役立つ情報に加え、商品やチラシの確認、お得なクーポンの配信やポイント管理、お買い物ごとにランクアップするロイヤリティプログラムなど、アプリ１つで情報収集からポイント・クーポン利用・お支払いまで便利でお得にお買い物いただけます。
また、欲しい商品を手に取りゲートを通るだけで決済可能な「ウォークスルー店舗」にも挑戦。未来に向けた新しいお買い物体験の実現を目指しています。



1 ＡＩによる「需要予測型発注システム」

2 「ESL」（電子棚札）



3 防犯・購買行動分析に活用「クラウドカメラ」

4 「セルフレジ」の推進

5 スキャンしながらお買い物「レジゴー」

6 店内をくまなく除菌清掃「ＡＩ自動清掃ロボット」

7 お客さまのお買い物を代行「ネットスーパー」

daici
オンライン
マルシェ
daici online marche

8 ECサイト「ダイエーオンラインマルシェ」

9 お買い物を通じたコミュニケーションの場を提供「移動販売」

新しいお買い物スタイル「ウォークスルー店舗」の実証実験

アプリをかざして入店したら、あとはスマホは不要。買いたい商品を手に取ってゲートを通るだけで決済が完了。

Webで紹介しています

環境・社会貢献への取り組み

サステナブルな社会の実現を目指す「SDGs」の達成に向けて、さまざまな取り組みを推進しています。

※データ期間は2022年3月～2023年2月

アイドリングストップの実施

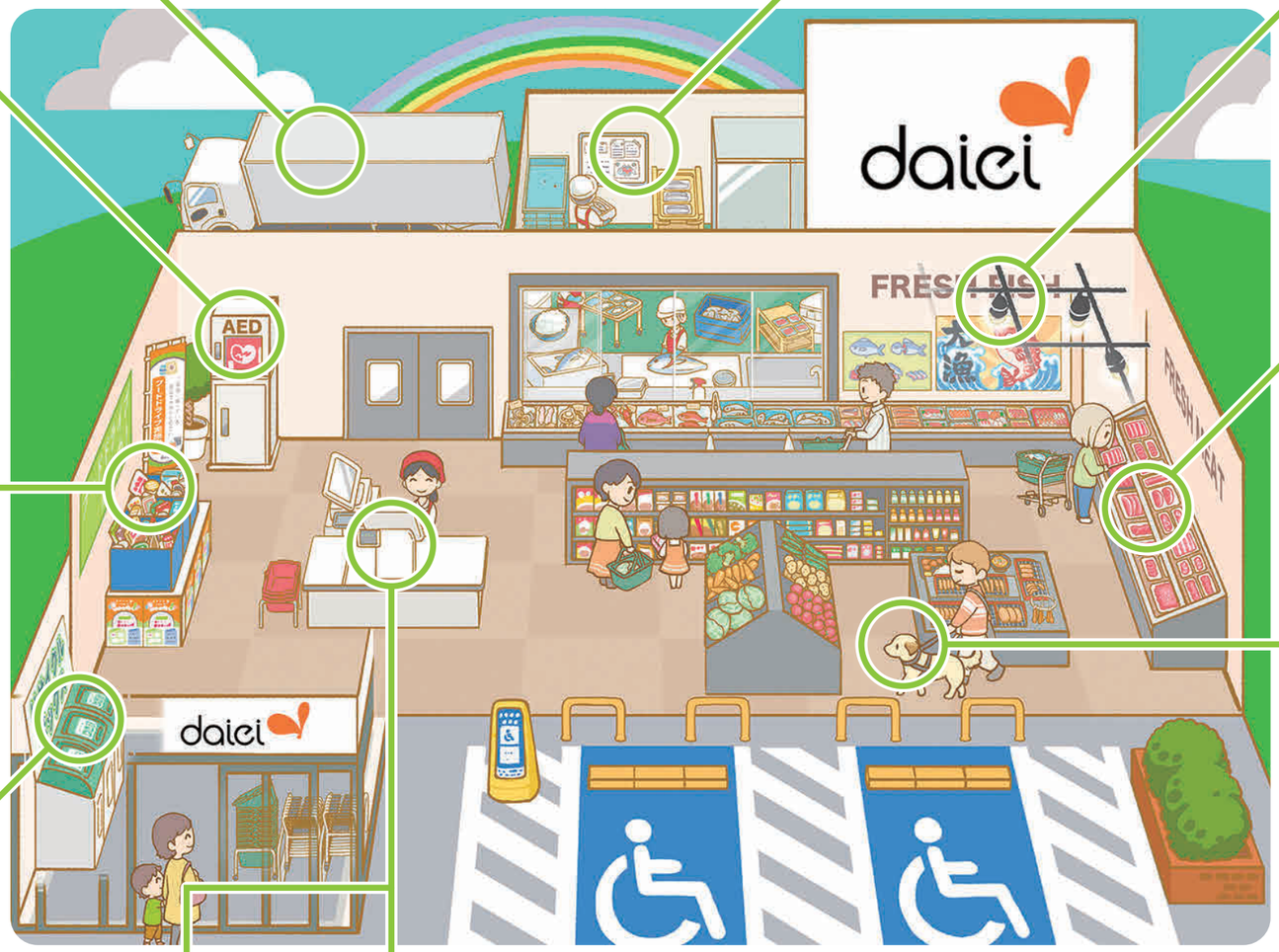
商品を納品するトラックのアイドリングストップを実施しています。

ISO14001の認証

環境負荷の低減に取り組んでいます。

AEDの設置

緊急時のためのAEDを設置しています。



食品廃棄の削減、リサイクルの実施

食品廃棄が発生しないよう発注や製造、商品販売の工夫をしています。やむを得ず廃棄せざるを得ない食品や、食品加工時などに発生する食品残渣は分別を徹底し、リサイクルするよう取り組んでいます。

省エネルギー照明の導入

LED照明や高効率反射板など、電力消費を減らす照明設備を導入しています。

ロングライフ商品の販売

真空スキンパック包装やMAP包装など、消費期限の延長が可能な包装技術を採用した商品を販売しています。

補助犬支援活動

補助犬はユーザーさまの大切なパートナーという考えに基づき、店舗や外部イベントにて補助犬へのご理解を深めていただくための啓発活動を行っています。また、盲導犬育成のための募金活動を、お客さまにご協力いただきながら行っています。

店舗見学の受け入れ

店舗見学や体験学習の受け入れを実施することで、地域の学校教育に協力しています。見学時にはお子さまにもわかりやすい、独自に作成した「SDGs」の冊子を配布しています。

食を通じた地域の助け合いをお手伝い

フードドライブの推進

店頭にて、ご家庭で食す機会のない食品をお客さまから集め、提携する地域のフードバンク団体等を経由して必要とする方々へ橋渡しをする「フードドライブ」に取り組んでいます。

2022年度の総重量 33.8 t

店頭での資源回収

牛乳パックや食品トレーなどを店頭で回収し、リサイクルしています。

カトラリーの素材変更

プラスチック製のカトラリーを、FSC認証材や植林材など環境に配慮した紙製・木製に変更しています。

マイバッグ・マイバスケットの販売

レジ袋の削減に向けてマイバッグ・マイバスケットを販売しています。

TOPICS

神戸市・小売・メーカー・リサイクラーとのプロジェクトに参画

プラスチックの水平リサイクル

洗剤やシャンプーなど日用品の使用済みつめかえパックを分別回収し再び製品化する「水平リサイクル」を目指すプロジェクトに参画しています。

食にこだわるスーパーができること

お子さまの学習をお手伝い

店舗見学や食育活動を実施し、地域の学校教育に協力をしています。また、店頭サイネージやホームページにて、当社キャラクターの「モッくん」がSDGsについてわかりやすく解説するマンガや動画などを紹介。お子さまが楽しく学べる環境づくりを行っています。

「ダイエーのお店とSDGs」はコチラ (web)

※未設置、または未導入の店舗もございます。

会社概要

社名	株式会社ダイエー
設立	1957年4月10日
代表者	代表取締役社長　西峠 泰男
事業内容	セルフサービスを販売方法の主体とする 商品の小売業　ほか
店舗数	206店舗(2023年6月末時点)
正社員数	1,945人(2023年2月末時点)
本社	〒135-0016　東京都江東区東陽2丁目2番20号 TEL(03)6388-7100(代表)
本店	〒650-0046　兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目1番1
URL	https://www.daiei.co.jp

役員(2023年6月末時点)

代表取締役社長	西峠 泰男
取締役	伊藤 秀樹
取締役	笹田 直弘
取締役	寺内 博史
取締役	大竹　勇
取締役	竹内 眞人
取締役 相談役(非常勤)	岡田 元也
取締役 (非常勤)	藤田 元宏
取締役 (非常勤)	平田　炎
監査役(常勤)	梶原 敬介
監査役(非常勤)	伊藤 克彦
監査役(非常勤)	榊　隆之

店舗展開(2023年6月末時点)

(株)ダイエー：206店舗

関東	計80店舗
埼玉県	8店舗
千葉県	8店舗
東京都	46店舗
神奈川県	18店舗

近畿	計126店舗
京都府	7店舗
滋賀県	1店舗
大阪府	73店舗
兵庫県	37店舗
奈良県	1店舗
和歌山県	7店舗

(株)光洋：78店舗

近畿	計78店舗
京都府	4店舗
大阪府	48店舗
兵庫県	24店舗
奈良県	2店舗

グループ会社

(株)光洋
本　社　大阪府茨木市横江2丁目7番52号 ダイエー茨木プロセスセンター新館4階
設　立　1973年1月
代表者　代表取締役社長　平田 炎
事業内容　食料品及び日用雑貨品等の小売販売

(株)アルティフーズ
本　社　大阪府茨木市横江2丁目7番52号
設　立　1975年12月
代表者　代表取締役社長　貴田 朗
事業内容　生鮮食品、惣菜、その他食料品の処理加工・製造および販売

(株)ボンテ
本　社　神奈川県川崎市川崎区白石町6-1
設　立　1972年7月
代表者　代表取締役社長　荻原 正明
事業内容　パン製造・販売

(株)鹿児島サンライズファーム
本　社　鹿児島県鹿屋市西祓川町1131-1
設　立　1970年7月
代表者　代表取締役社長　堤 悟
事業内容　肉用牛・豚の肥育生産管理および販売

(株)オレンジフードコート
本　社　東京都江東区東陽2-2-20
設　立　1969年6月
代表者　代表取締役社長　越智 雅也
事業内容　クレープ、アイスクリームなどを扱う外食チェーン

(株)ダイエースペースクリエイト
本　社　東京都江東区東陽2-2-20
設　立　2006年3月
代表者　代表取締役社長　中内 晃
事業内容　クリエイティブ事業(イベント催事仲介)、ソリューション事業(棚卸・業務受託)

(株)テンダイ
本　社　東京都中央区日本橋箱崎町18番10号 東成ビルディング5階
設　立　1981年9月
代表者　代表取締役社長　本間 淑浩
代表取締役総経理　崔 岩
事業内容　輸出入卸売業

当社の歩み

沿革

1957年	4月	創業者 中内㓛が(株)ダイエーの前身である大栄薬品工業(株)を設立
	9月	1号店(店名：主婦の店・ダイエー薬局)が千林駅前(大阪市)にオープン
1958年	12月	三宮店(神戸市)オープン。チェーン化の第一歩を踏み出す
1961年	9月	プライベートブランド第1号「ダイエーインスタントコーヒー」発売
1968年	11月	日本初の本格的郊外型ショッピングセンター「香里店」(大阪府寝屋川市)をオープン
1970年	3月	商号を「株式会社ダイエー」とする
	7月	(株)ダイエーセントラル牧場(現：(株)鹿児島サンライズファーム)設立
	11月	ダイエー品質管理センター設置
	11月	5万円台のカラーテレビ「ブブ(13型)」発売
1971年	1月	株式上場(大阪証券取引所市場第二部)
	9月	クレーム110番制度発足(業界に先駆け本部に苦情などの承り部署設置)
1972年	3月	株式上場(東京証券取引所市場第一部)
	3月	物価値上がり阻止運動を宣言
	8月	小売業売上高日本一を達成
1978年	8月	日本で初めて「ノーブランド商品」発売
1980年	2月	小売業初の売上高1兆円を達成
	12月	プライベートブランド「セービング」発売
1994年	3月	(株)忠実屋、(株)ユニードダイエー、(株)ダイナハと合併
1995年	1月	阪神・淡路大震災直後から「がんばろやWe Love KOBE」キャンペーンを展開
1999年	10月	安心・安全な食品のプライベートブランド「すこやか育ち」発売
2004年	12月	産業再生機構による支援決定
2005年	12月	「新ロゴデザイン」「スローガン」誕生
2006年	3月	食品のプライベートブランド「おいしくたべたい！」発売
	4月	「ハートポイントカード」の発行開始
2007年	3月	イオン(株)・丸紅(株)との資本・業務提携締結
2008年	3月	イオンのブランド「トップバリュ」を本格導入
2008年	9月	ダイエーネットスーパーの第1号店がオープン
2009年	9月	(株)グルメシティ北海道、(株)グルメシティ九州との吸収分割を実施
	10月	ISO14001認証取得
2011年	3月	東日本大震災発生直後から被災地復興支援活動を実施
2013年	8月	イオン(株)による当社株券等に対する公開買付け実施に伴い、イオン(株)の連結子会社化
2014年	12月	株式上場廃止(東京証券取引所市場第一部)
2015年	1月	イオン(株)の完全子会社化
	3月	(株)グルメシティ関東、及び(株)グルメシティ近畿の事業を承継し、吸収合併
	9月	北海道・九州・名古屋地域の店舗運営をイオングループ各社に承継
2016年	3月	関東・近畿地域の28店舗と東北地域の1店舗の店舗運営をイオンリテールストア(株)に承継
2017年	11月	需要予測型発注システムを導入
2018年	1月	フードドライブの本格展開を開始
2019年	3月	(株)山陽マルナカの14店舗を承継
2020年	3月	(株)光洋を完全子会社化
2022年	6月	「盲導犬募金」への累計募金総額が5億円に到達
	9月	経済産業省より「DX認定事業者」に選定
2023年	2月	4店舗が経済産業省創設の「おもてなし規格認証」で「金認証」を取得

ダイエー1号店

カラーテレビ「ブブ(13型)」

プライベートブランド「セービング」

食の安心・安全ブランド「すこやか育ち」

プライベートブランド「おいしくたべたい！」

「おもてなし規格認証」認証書